

【参考資料】

最近の雇用情勢等について

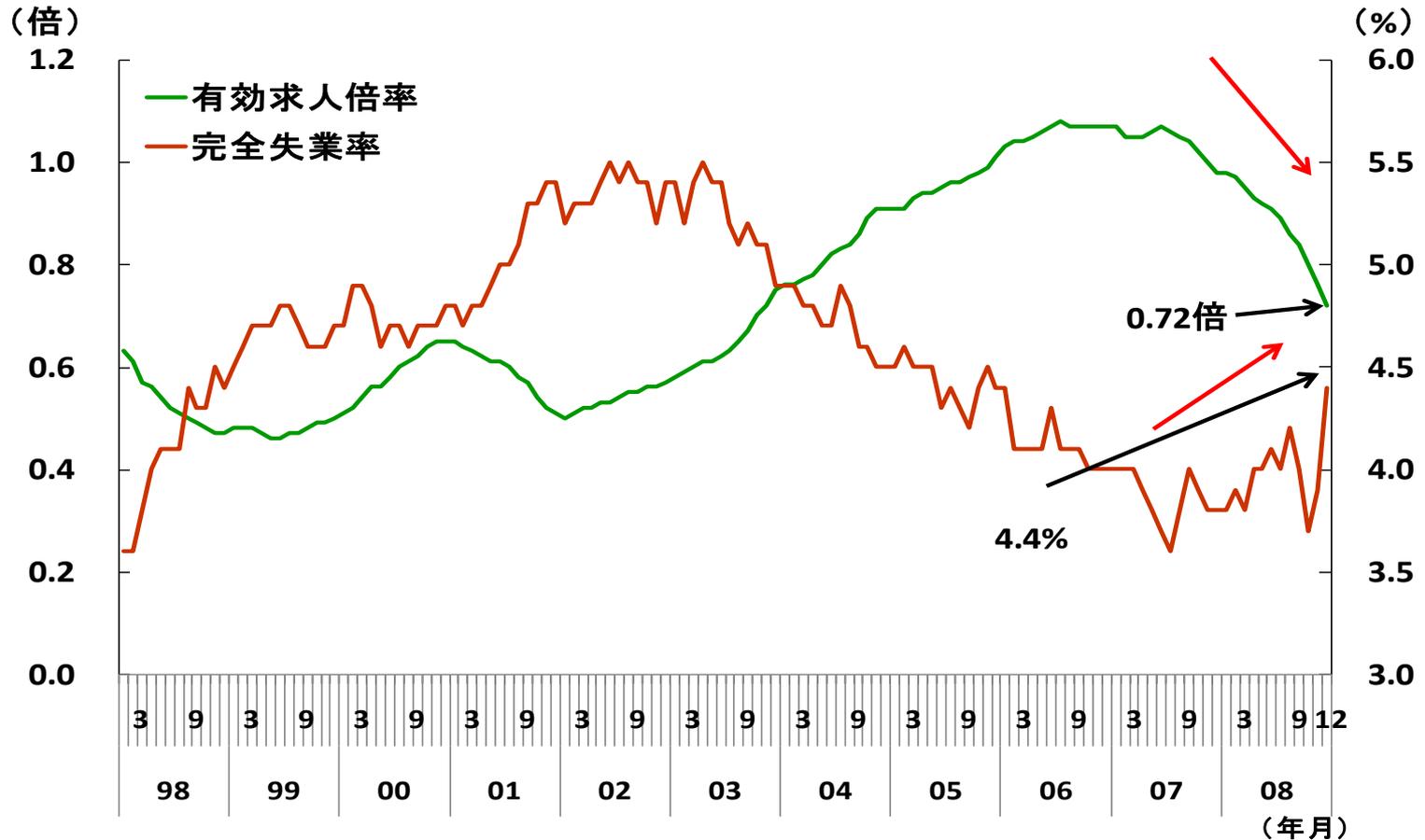
中小企業政策審議会
経営支援部会
中小企業人材確保育成支援小委員会

平成21年2月
中小企業庁

我が国の雇用情勢

景気の後退に伴って、有効求人倍率が低下し、失業率が上昇するなど雇用情勢が悪化。

<図1> 有効求人倍率と完全失業率



資料:総務省「労働力調査」、厚生労働省「職業安定業務統計」

非正規社員の雇止め等

厚生労働省が派遣社員等の雇止め等の状況について聞き取り調査を1月上旬に行ったところ、来年3月までに約12.5万人の雇止め等が生じる見込み。

＜表1＞ 業種別雇用形態別の雇止め数 (人)

雇用形態 \ 業種	製造業	運輸業	卸・小売業	その他	雇用形態別計
派遣	84,946	358	113	336	85,743
契約(期間工等)	22,875	50	192	130	23,247
請負	9,446	30	3	977	10,456
その他	3,451	154	908	843	5,356
業種別計	120,718	592	1,216	2,286	124,802

資料：厚生労働省「非正規労働者の雇止め等の状況について」
(平成21年1月)

就職内定率の状況

来年3月卒業予定者の就職内定率は概ね昨年並みとなっているが、内定取消しが多数発生しており、また、今後の新卒採用が絞られる恐れがある。

＜表2＞ 20年度12月1日現在の内定状況 (万人)

	卒業予定者	就職希望者	希望率(%)	就職内定者	内定率(%)	未内定者
高校	107.1	19.0	17.7	14.8	77.9	4.2
高专	1.1	0.56	50.9	0.54	96.4	0.02
短大	7.8	6.4	82.1	3.6	56.3	2.8
大学	54.4	41.1	75.6	33.0	80.3	8.1
合計	170.4	67.1	39.4	51.9	77.3	15.2

12月の内定率が今年度末まで横ばいと仮定すると、15.2万人が内定無し。

＜表3＞ 採用内定取消し件数(平成21年1月23日現在)

	事業所の件数	人数
高校生	77	206
大学生等	244	1,009
合計	271	1,215

(注)1 同一事業主が、異なる学校種で取消しを行っている事例があるため、合計の件数と内訳の計は一致しない。

(注)2 大学生等とは、大学、短期大学、専修学校等の学生である。

資料：厚生労働省「新規学校卒業者の採用内定取消しへの対応について」
(平成21年1月)